



大泉

「人は学ぶ」

「人は変わる」

「人は輝く」

9月号

令和5年9月15日

発行者 新村 紀昭

編集 相川 直綱

益者三友、損者三友

「自主自立」を目指して

2学期が始まり、10日余りが経ちました。定期テストも2週間後に控えています。学校生活のペースをつかむことはできましたか。

さて、先週は学校公開日でしたが、保護者や来年少学する6年生の保護者の方などがたくさん参観に来て、皆さんがしっかり挨拶する様子や2分前着席と自習する姿、授業に真剣に取り組む姿を高く評価してくださいました。また、練馬区一斉防災訓練では、ほとんどの生徒が無言で行動し、すべての行動が5分前に進んでいました。ただ、残念ながら一部、残念な行動があったとも聞いています。

今後、皆さんに期待したいこと、それは、先生の指示を待たず、生徒同士で注意し合い、「自主自立」を果たすということです。そして、そのために重要なのは、よい仲間関係をつくるということです。

そこで、中国の儒学者 孔子の言葉を紹介します。

益者三友、損者三友(えきしゃんゆうそんしゃんゆう)

友直、友諒、友多聞、益友直、

友便辟、友善柔、友便佞、損友

直(なお)きを友とし、諒(まこと)を友とし、多聞(たもん)を友とするは、益なり。便辟(べんぺき)を友とし、善柔(ぜんじゅう)を友とし、便佞(べんねい)を友とするは損なり。」

この言葉の意味ですが、孔子は、自分を成長させるために有益な友達は三種類ある。また、成長に結び付かない友達にも三種類あると言っています。

自分を成長させてくれるよい仲間は、①正しいと思うことをはっきりと言ってくれる人。②うそのない誠実な人。③知識が豊富な人。反対に、自分の成長の妨げになる

仲間は、①人に気に入ってもらおうと調子を合わせるだけの人、媚びる人、②つきあいは良いが、誠実さのない人、③口先ばかり、調子のいいことばかり言う人、ということです。

孔子は良友、悪友を例示していますが、見方を変えると、自分は「損者三友」になっていないか、自分自身を見直すキーワードにもなると思います。

① 表面ばかり気にして、相手に調子を合わせるだけの人になっていないか(友達のために必要なアドバイスや注意をしているか)

② 表面上は仲良くしているが、陰で裏切っていないか(うそをつかず、誠実に真心でつきあっているか)

③ 口先で相手が喜ぶようなことだけを適当に言っていないか(相手のことを考え、根拠や理由をもって話しているか、学び合い高め合える関係か)

始業式の際にも話しましたが、2学期は、1年間で最も期間が長く、様々な行事が予定されており、学校が最も活気づいて、互いに切磋琢磨することを通して、自分自身をよりよく変化・成長させられる学期です。そして、成長のカギとなるのは、すぐ隣にいる友達であり、学級や学年、部活動の仲間たちです。一人一人の個性を大切にしつつも、ここぞという時には、己を抑えて理解し合い、団結できる仲間であってほしいと思います。

様々な行事や活動を通して、「自主・自立」に向かって成長してください。必要なときには勇気をもって互いに注意しあい、辛いときは励まし合って成長できる仲間「益者三友」を実現してください。

(9月全校朝礼講話より)

保護者、地域の皆様、無事に2学期を迎えることができました。今学期も様々な面で、ぜひ、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

■ 全国学力学習状況調査結果について

この調査は、文部科学省が毎年4月、全国の小中学校の最上級生を対象に実施している学力調査と意識調査です。本校の学力調査結果は、3教科とも国や東京都、練馬区の平均達成率を上回りました。また、全教科にわたり無回答率が低く、粘り強く問題に取り組んだことが伺えました。

<全国学力学習状況調査結果（平均正答率）>

教 科	平均正答率				知識・技能			思考力・判断力・表現力		
	本校	区	都	全国	本校	都	全国	本校	都	全国
国 語	78.0	74.0	72.0	69.8	75.4	70.1	69.4	78.9	72.9	69.7
数 学	63.0	57.0	54.0	51.0	66.6	58.7	55.7	55.9	45.8	41.6
英 語	59.0	55.0	52.0	45.6	66.4	57.9	51.5	50.2	44.8	38.8

意識調査の主なものでは、「自分に良いところはあるか」は73.9ポイントで、昨年度より3ポイント伸びましたが、都より－6ポイントでした。次に「将来の夢や希望はあるか」は、67.9で都より+2.3ポイントでした。「困りごとや不安を先生や学校にいる大人に相談できるか」は58.7で、昨年度より+14ポイントでしたが、国より－7.7でした。「2年時、授業でタブレットをどの程度活用したか」では週3回以上95.3で、都より+29ポイントという結果でした。自己肯定感を高める授業の工夫がさらに必要だと考えます。

■ 東京都「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（意識調査）結果について

この調査は、東京都が小学校4～6年生と中学校全学年の生徒を対象に実施している調査で、児童生徒の学びに向かう力等に関する意識や、学校の指導方法を把握・分析して学習指導の充実や授業改善に活用することなどを目的としています。

①授業理解度について

質 問 項 目		国語	社会	数学	理科	英語
授業内容がわかる、 どちらかと言えばわかる （肯定的意見）	本 校	90.3	77.5	87.6	88.1	74.5
	練馬区	89.4	81.3	84.8	79.6	77.1
	東京都	89.5	82.6	84.6	80.4	76.5

②学習動機（肯定的な回答 そうだ・どちらかと言えばそうだ）

質 問 項 目	本校	練馬区	東京都
分かることやできることがうれしいから	79.3	80.2	80.1
しっかり考えられるようになりたいから	79.8	80.5	81.1
将来の仕事や生活に役立つから	82.1	80.4	81.7
友達や先生と学習するのが楽しいから	69.8	67.7	68.4

③学習の進め方（肯定的な回答 そうだ・どちらかと言えばそうだ）

質 問 項 目	本校	練馬区	東京都
できるまで繰り返し練習する（反復・粘り強さ）	60.7	64.7	65.0
どうやったらよいか考えて学習を始める（見通し）	52.3	58.2	60.5
できるようにならないときは学習を工夫する（工夫）	56.2	61.7	63.6
テストで間違えたら理由を考えている（見直し意欲）	73.8	77.7	77.3
分からないときは質問して解決している（質問意欲）	74.5	77.1	78.3
自分が考えたことを積極的に伝えようとする（表現）	49.5	47.1	49.0

学習動機については、都全体と大きな差は感じられませんが、学習の進め方については、積極的に表現するなど、良い点も見られますが、粘り強く問題に取り組む姿勢や、見通しを立てて、柔軟に学習方法を工夫する姿勢、テストで間違えた部分を丁寧に復習する姿勢等、自から進んで学習する習慣が十分でない生徒がいることがわかりました。また、この傾向は、特に下学年に多いこともわかりました。定期テストに向けた準備はもちろんですが、日ごろから主体的に学習しようとする姿勢が身に付くような課題の出し方や、小テストなどを実施して反復練習を促すような取組を増やすことも検討していきたいと考えます。ご家庭でも、ぜひご支援をお願いいたします。